

初心者向け材料試験講習会(第6回)報告

『私たちは製造技術の向上に努力しています』

実施日： 平成17年10月19日(水)

場 所： (社)日本道路建設業協会 道路試験所 (八王子市)

これまで道路試験所に於いて、中級者向け4回、初心者向け5回の材料試験講習会を実施してきました。

今回は、初心者向け「第6回」の講習会に組合員13名が参加し、真剣に取り組みました。講習内容は、初級として材料品質の基礎、参加回数により更に掘り下げ、材料による品質の異なる供試体を作成し、原料の違いによる性状確認をするなど、受講者が試験を実際に行ない、日々の生産活動に役立てることが目的です。前回より、データプロジェクターを使った説明はわかりやすく、更に詳しくご指導いただきました。



1.当組合理事長 佐藤泰三より挨拶。



2.道路試験所所長 下田哲也様よりご挨拶。



3.当組合生産販売部会副会長が司会進行を務めました。



4.清野調査試験課長による講義開始。



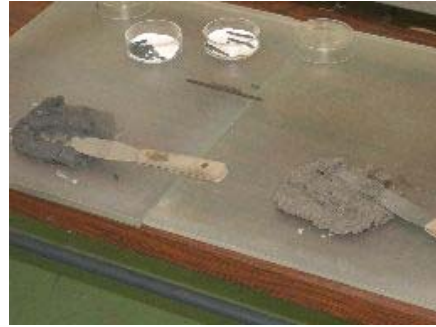
5.各再生骨材の仮定粒度について説明を受ける。



6.上限、中央、下限粒度の見本。



7.再生コンクリート砕石と再生アスファルト砕石の混合率によるCBR値の検証。



8.塑性液性限界の試験試料。



9.試験室で、土の、固体、半固体、塑性体、液体PIIについて説明を受ける受講生。



10.仮定粒度の各種試料。



11.試料の混合をする受講生。



12.突き固め試験。



13.突き固め試験機の落錘状況。



14.講師の説明を聞く受講生。



15.突き固め後の質量測定。



16.再生アスコンの混合率変化での締まり具合の目視。



17.清野課長による液性限界試験機の試料作り。



18.液性限界試験機。



19.塑性試験に挑戦する受講生。



20.教室に戻って講義を受ける。

講習後に実施したアンケートには「前回は参加させていただきましたが、今回は実際に実験を自分の手で行ったのでごく勉強になりました。ありがとうございました」
「実技が行われたので、より試験が身近に感じられました。より良い品質のものを造っていくことが重要であると再認識しました」などの意見があり、生産者としての意識の向上、知識の習得など全体のレベルアップにつながる 成果がありました。

この講習会の様子は、「建通新聞(10月20日)」、「日刊建設産業新聞(10月25日)」、
「骨材情報紙アグリゲイト(12月12日)」で紹介されました。

最後になりましたが、講師、講習の場を提供してくださいました「(社)日本道路建設業協会 道路試験所」の皆様に深く感謝申し上げますと共に、これからもご指導ご鞭撻いただけますようお願い申し上げます。
